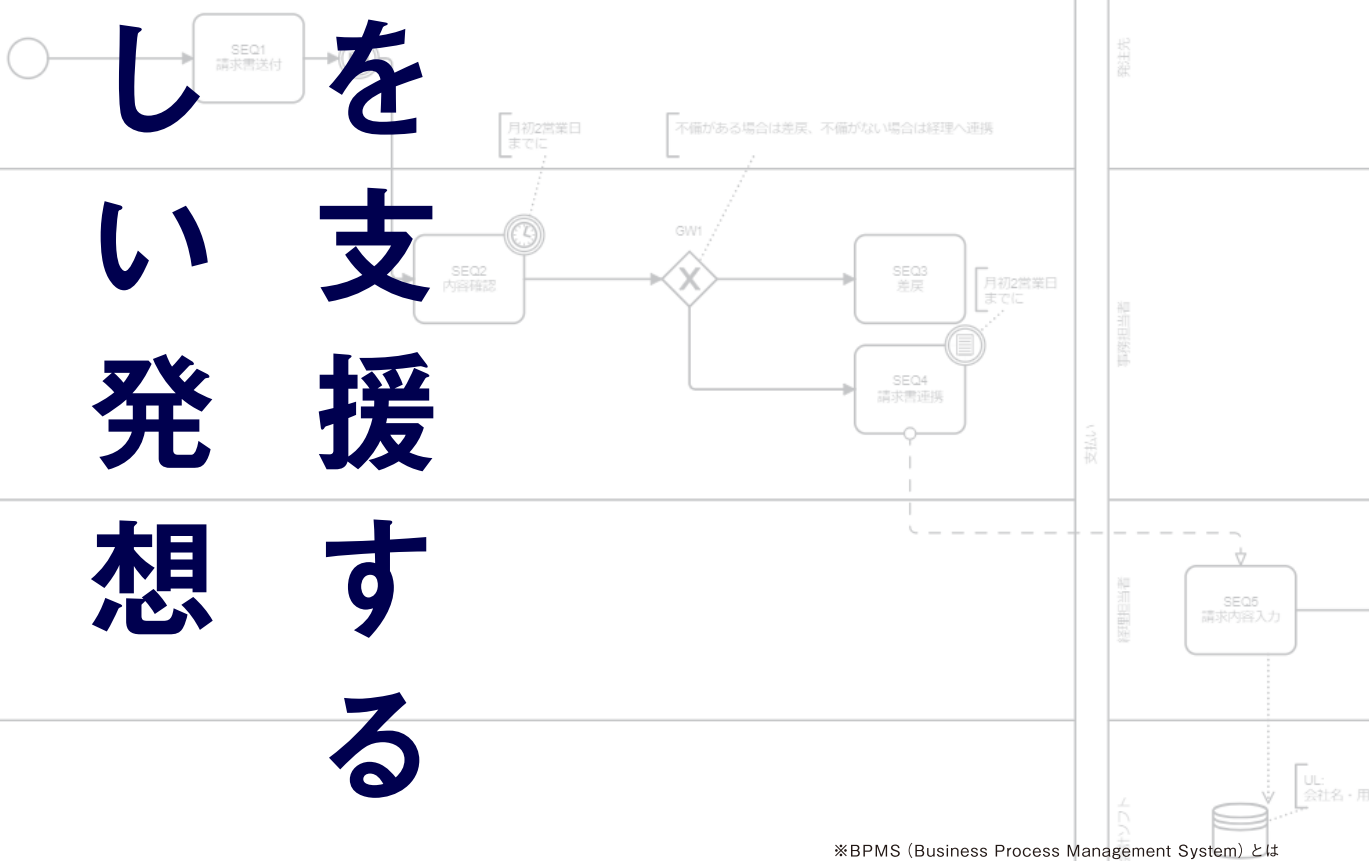


# 新しい作成方法のBPM S 今までのない新しい発想 主体的なBPRを支援する

## All Patent Service BPM+

特許第7545132号 / 国際特願PCT/JP2024/18362



※BPMS (Business Process Management System) とは  
BPMを実現するためのITツールのこと

コンサルティング会社が作った  
**BPM+ 開発のルーツ**

**BPR 自走化を支援**

「業務改善の起点は、現状把握からはじめること」  
「実務を担当している、当事者が改善意識をもつこと」

改善起点となるBPMN\*を実務担当者が作成し、自立的・主体的な意識をもつことが、BPRを自走化する第一歩であると考えました。  
BPM+は、わたしたちの経験から導き出した、BPR推進の一つの解になります。

※BPMN：ビジネスプロセス・モデルと表記法（Business Process Model and Notation）の略計画された業務プロセスの手順を最初から最後までモデル化するフローチャート手法のこと

The screenshot displays the BPM+ web application interface. The top navigation bar includes 'BPM+', 'ホーム', 'BPMN作成ヒアリング開始', 'BPMN一覧', '企業一覧', '管理者アカウント一覧', and 'ログアウト'. The main workspace is divided into two panes. The left pane shows a BPMN diagram with various process elements like start, task, gateway, and end. The right pane is titled 'ヒアリングメニュー' and contains several configuration buttons: 'BPMN lane設定', '業務内容入力・修正', 'オブジェクトコネクティング設定', 'オブジェクト条件設定', '生産性設定', and '画面設定'. Below this is a 'SEQと課題' section with a question '課題があると思うSEQと課題はなんですか？'. A dropdown menu is open, showing 'SEQ1: 請求書送付 担当者: 菊池先'. Below the dropdown are several checkboxes for 'Q' (課題の概要を入力してください), '課題原因は何ですか？' (with options for 'ルール不足' and '紙を使用した作業'), and '課題要因は何ですか？' (with options for '全体的な処理が、紙媒体で進行（システム化できていないため）', '必要情報を、いくつかのシステムツールに分散管理しているため', and 'お客様用（システム）の手順が紙媒体で、業務システム（BPM+）の'). A blue callout box at the bottom right points to the dropdown menu with the text: '質問に対して入力していくだけ 左側にリニアに図字化される'.

BPMをフレームワーク化!

## こんな企業におすすめ



例えば…

作成に時間がかかる

ルールや手順バラツキがあり、  
十人十色なBPMNになってしまう

一部の社員しか、  
BPMNを作成できない

まずは現状把握したい

社内で主体的にBPR推進したい

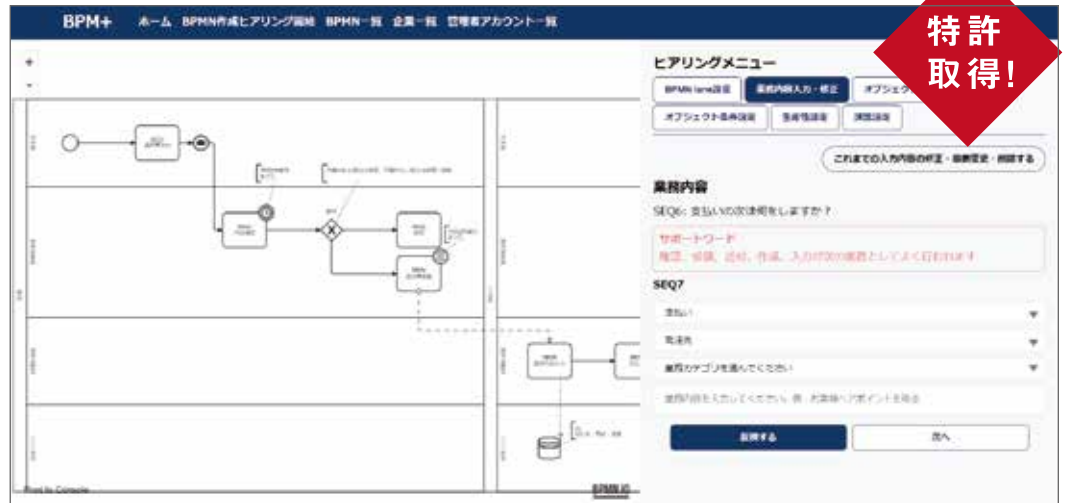
研修や引継ぎに必要な情報が  
個人の頭の中にある

そんな企業にはBPM+がぴったり!

## ユニークな特長

# 01 知識や経験不要で、BPMN作成可能

※1  
特許  
取得!



1. 質問に対して入力していくだけでリニアに図字化
2. リコメンドワード機能で迷わずサクサク進む
3. 表記ルールが統一化され、誰が作成してもばらつきが少ない
4. 実務を行っている者が作成することで、その後の改善が進みやすい

人とシステムのすみわけ

## BPM+ 活用の範囲

まずは現状の見える化を、当事者である  
実務社員が主体となって行いませんか?

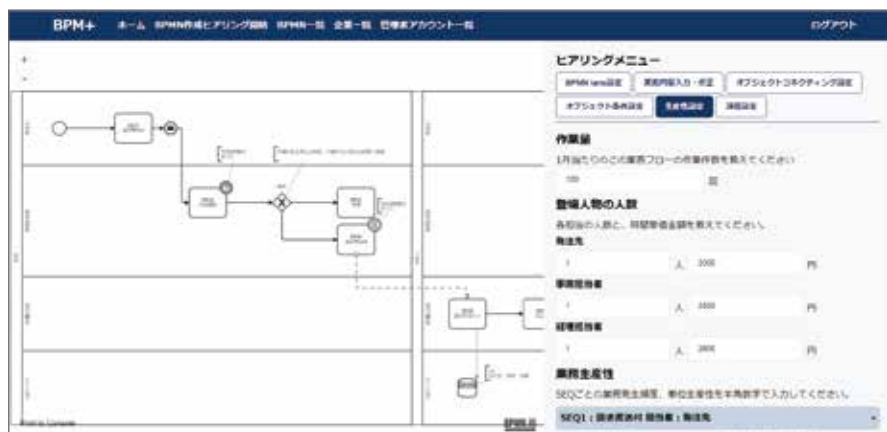
※1・特許第7545132号/国際特願PCT/JP2024/18362

※2・SEQはSequenceの略 SEQ一覧は、役割・工数・稼働コストなど複数要素のマトリックス表(弊社独自)

※3・BPMNを取り込むだけで、対策立案までサポート可能な課題分析システム

※4・BPM+とExcelでの作成速度の比較(弊社のコンサルタントが実際に作成)

## 02 フローを数値データ化することで、具体的な分析・改善立案



1. 質問に回答するだけで、作成が面倒なSEQ一覧※2を自動生成
2. 役割分担や作業別工数をデータ化し、CSVでアウトプット
3. 効果想定や積算に活用することで、より具体的な対策案の選定が可能
4. BPL+※3へのデータ移行もスムーズ

## 03 作成時間80%減※4 圧倒的な速さ



1. 作成に係る稼働削減により、BPRの推進がよりスムーズに
2. 誰でも簡単操作で作成できるから、高い可用性

現状把握



現状のフロー把握  
工数の把握

課題と原因特定



課題分析システムBPL+(別途クラウドサービス)でサポート可

対策案選定



変更後のフロー把握  
効果想定 実施判断

効果想定



対策実行



ナレッジシステム「BPUSS」でサポート可



## 株式会社ドウエピオン

設立年月日	2020年6月1日
代表者	代表取締役社長 佐々木 忠晴
従業員数	45名(2024年4月)
事業内容	BPR業務受託サービス事業 システム開発・販売事業 情報提供サービス事業 経営コンサルタント事業 経営診断事業 社員教育業務の受託事業 物品販売
主要取引先	NTTファイナンス株式会社 株式会社エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケーションズ 株式会社研文堂 株式会社ジェーシービー 株式会社タイトー 豊田通商株式会社 東日本電信電話株式会社 (産学連携)東京工業大学オープンイノベーション機構 (50音順 敬称略)
取引銀行	興産信用金庫 みずほ銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 (50音順 敬称略)
資格など	特許第7545132号/国際特願PCT/JP2024/18362/登録商標第6300054号
代表電話	03-5577-3855
電子メール	epion@doepion.co.jp
住所	〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-7-6 TK猿楽町ビル 3F
URL	<a href="https://doepion.co.jp/">https://doepion.co.jp/</a>

## サポートに関して

使い方の社員研修や、日々の活用サポート、必要に応じてコンサルティングも行います。  
お気軽にお問い合わせください!

✉ [epion@doepion.co.jp](mailto:epion@doepion.co.jp)

